

IV 良質な個別サービスの実施(特養)

【 評価項目 】		a	b	c	Na
A-1 利用者の尊重					
(1) 利用者の尊重					
1	1	利用者信頼関係を構築するための取組が積極的に行われている。	○		
2	2	利用者の意向を十分に尊重している。		○	
3	3	利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを行っている。	○		
4	4	利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるよう工夫している。	○		
<p>(特に評価が高い点) 自己チェックを活用するなど接遇教育に力を入れられ、職員の笑顔と感じの良い接し方、ユマニチュードの実践による、認知症利用者との良好なコミュニケーションは高く評価できます。</p> <p>(改善が求められる点) 利用者のさらなるニーズを把握するための仕組みが必要ありませんか。</p>					
(2) 利用者の権利擁護					
5	1	利用者の権利を擁護する具体的な取組が行われている。	○		
<p>(特に評価が高い点) 虐待防止マニュアルを整備するとともに、職員研修における周知に加え、職員のストレスチェックを行うなど、虐待が起こる芽を摘む取組は評価できます。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし</p>					
(3) 家族との連携・交流					
6	1	家族との連携・交流が積極的に行われている。		○	
<p>(特に評価が高い点) 地域の盆踊りなどに家族と一緒に参加し、地域との交流がされていることは評価できます。</p> <p>(改善が求められる点) さらに家族との交流が深まり、連携を推進できる取り組みが必要ありませんか。</p>					
(4) 生活環境づくり					
7	1	利用者が過ごしやすい環境づくりに取り組んでいる。	○		
<p>(特に評価が高い点) 清潔感があり、ゆったりとした空間が広がっています。居室はユニット型個室であり、プライバシーは保護され、なじみの家具の持ち込みも可能です。リビングにはコタツがあるなど、利用者にとって快適で過ごしやすい環境は評価できます。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし</p>					

【 評価項目 】		a	b	c	Na
(5) 終末期ケア					
8	1 終末期の場所等の選択に配慮がなされている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 利用者や家族の意向を尊重し、利用者の状況に応じて、できる限り終末期ケアに取り組む姿勢は評価できます。</p> <p>(改善が求められる点) 看取りケア体制を強化するために、医療的ケアのできる介護福祉士の積極的採用や、介護職員喀痰吸引研修の終了者を増やす取組が必要ありませんか。</p>					

A-2 日常生活支援					
(1) 食事					
9	1 サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	○			
10	2 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	○			
11	3 喫食環境(食事時間を含む)に配慮している。	○			
12	4 利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 食事は、幅のある時間帯で個人が好む時間に摂ることができ、食事場所も居室とフロアで選択できることは評価できます。ソフト食の導入や新たな調理システムへの移行など食事サービスの質向上を目指す取組は評価できます。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし</p>					

(2) 入浴					
13	1 入浴は、利用者の身体状況や介助方法など個人的事情に配慮している。	○			
14	2 入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	○			
15	3 浴室・脱衣場等の環境に配慮している。	○			
<p>(特に評価が高い点) 利用者一人ひとりの身体状況に対応できるよう、4種類の浴槽が整備され一対一での入浴に取り組まれるとともに、利用者の要望に応じて、設定した入浴時間以外でも可能な限り対応している点は評価できます。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし</p>					

【 評価項目 】		a	b	c	Na
(3) 排泄					
16	1 排泄介助は利用者の身体状況や介助方法など個人的事情に配慮している。	○			
17	2 トイレ環境に配慮している。	○			
(特に評価が高い点) 特になし (改善が求められる点) 特になし					

(4) 移乗・移動					
18	1 移乗・移動介助は、利用者の身体状況や介助方法など個人的事情に配慮している。	○			
(特に評価が高い点) 特になし (改善が求められる点) 特になし					

(5) 認知症利用者への対応					
19	1 認知症利用者への対応が適切に行われている。	○			
20	2 認知症高齢者が安心・安全に生活できるよう、環境の整備を行っている。	○			
(特に評価が高い点) ユマニチュードの実践に加え、入居時に利用者一人ひとりの生活歴を把握し、また、アセスメントにより、24時間シートを活用し、利用者の状況に応じた対応を行っていることは評価できます。 (改善が求められる点) 特になし					

(6) 整容					
21	1 利用者の身だしなみや清潔への配慮について支援が行われている。	○			
22	2 利用者の個性や好みを尊重し、理容・美容への支援を行っている。	○			
(特に評価が高い点) 利用者の表情はみな穏やかで、小綺麗にされていました。 (改善が求められる点) 特になし					

【 評価項目 】				a	b	c	Na
(7) 睡眠							
23	1	安眠できるように配慮している。		○			
<p>(特に評価が高い点) 全室個室であり、個人にあった環境で安眠できるように配慮されており、不眠の訴えがあった時の対応(ラベンダーの香りのスプレーをカーテンに吹きかけるなど)に工夫がみられる点は評価できます。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし</p>							

(8) 健康管理							
24	1	日常の健康管理は適切である。		○			
25	2	必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。		○			
26	3	内服薬・外用薬等の扱いは確実にされている。		○			
27	4	利用者の体調変化時に、迅速に対応するための手順が確立している。		○			
28	5	感染症や食中毒の発生予防を行っている。		○			
29	6	褥瘡の発生予防を行っている。		○			
<p>(特に評価が高い点) 健康管理票を整備し、適宜健康相談を行っている。毎日バイタルチェックを行い、日々の変化を把握されるなど、毎日の健康管理は徹底されていました。2か所の協力医療機関を持ち、24時間可能な医療機関との連絡体制を整備されていることは評価できます。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし</p>							

(9) 外泊、外出							
30	1	外出、外泊は利用者の希望に応じて行われている。			○		
<p>(特に評価が高い点) 特になし</p> <p>(改善が求められる点) さらなるニーズに応えられるよう、体制の整備やルールづくりが必要ありませんか。</p>							

【 評価項目 】				a	b	c	Na
(10) 所持金・預かり金の管理							
31	1	預かり金について、適切な管理体制が作られている。		○			
(特に評価が高い点) 特になし (改善が求められる点) 特になし							

A-3 自立支援							
(1) 機能回復							
32	1	利用者の心身の状況に応じた機能回復の支援が適切に行われている。		○			
(特に評価が高い点) 特になし (改善が求められる点) 機能回復訓練の個別プログラムの充実と実行体制の強化が必要ありませんか。							

(2) 生きがづくり							
33	1	利用者の余暇活動や生きがづくりへの支援が適切に行われている。		○			
(特に評価が高い点) 特になし (改善が求められる点) 利用者ニーズを満たす、さらなる個別プログラムの充実と実行体制の強化が必要ありませんか。							

(3) 地域生活への移行							
34	1	利用者の状況に応じ、地域生活への移行についての支援を行っている。		○			
(特に評価が高い点) 利用者が在宅サービスでの生活が可能となった時、併設の小規模多機能、居宅介護支援事業所と連携してサービス援助できる体制が整備されており、実例もあることは評価できます。 (改善が求められる点) 特になし							